

議会広報

かみいち

2019

20号

令和元年7月16日

- 6月定例会の要点・委員会報告 .. P2~4
- 一般質問..... P5~13
- 委員会視察報告 P14
- 追跡レポート..... P15
- 町民の声..... P16

(写真) 上市中央小学校 新しい中央っ子と仲良くなるうね集会

発行 / 上市町議会
編集 / 議会広報特別委員会



令和元年6月定例会の審議の要点

令和元年度
一般会計補正予算
7828万円を増額し

総額**97億3402万円**に

令和元年6月定例会は11日から19日までの9日間にわたって開催。

今年度の一般会計補正予算、農業集落排水事業、下水道事業、国民健康保険事業、病院事業会計の5件。条例制定及び一部改正26件。専決処分7件。その他1件。以上39件について審議を行い、議事はすべて原案の通り可決・承認。追加議案の消防資機材搬送車取得の件については、可決しました。

その他、議員9名が一般質問（P5からP13）に立った。

予約乗り合い方式(デマンド運行)の実証運行費	591万円
地域コミュニティバス運行事業費	158万円
企業誘致推進費	2188万円
ふるさと剣親自然公園管理費	1312万円
小学校施設整備費	500万円

会議出欠表

○出席 ×欠席 △遅刻・早退

日付	会議の内容等	松谷 英真	松本 寛	寺西 庄司	伊井 勇治	成川 友仁	堀田喜久男	勝戸 謙	伊東 俊治	宝嶋 洋子	碓井 憲夫	酒井 恒雄	酒井 桂之
6月11日	本会議、全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14日	本会議（一般質問）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17日	総務教育常任委員会	-	○	-	○	○	-	○	-	○	-	-	○
18日	産業厚生常任委員会	○	-	○	-	-	○	-	○	-	○	○	-
19日	全員協議会、本会議（委員長報告・討論・採決）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



議案採決一覧

○賛成 ×反対 △保留・欠席

議案	議 員											
	議長 松谷 英真	松本 寛	寺西 庄司	伊井 勇治	成川 友仁	堀田 喜久男	勝戸 謙	伊東 俊治	宝嶋 洋子	碓井 憲夫	酒井 恒雄	酒井 桂之
第 30 号	専決処分の承認を求める件（平成 30 年度上市町一般会計補正予算（第 7 号））	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 31 号	専決処分の承認を求める件（平成 30 年度上市町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 5 号））	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 32 号	専決処分の承認を求める件（平成 30 年度上市町病院事業会計補正予算（第 5 号））	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 33 号	専決処分を求める件（上市町職員の給与に関する条例一部改正の件）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 34 号	専決処分の承認を求める件（上市町税条例等の一部を改正する条例制定の件）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 35 号	専決処分の承認を求める件（上市町国民健康保険税条例一部改正の件）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 36 号	専決処分の承認を求める件（上市町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例一部改正の件）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 37 号	令和元年度上市町一般会計補正予算（第 1 号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 38 号	令和元年度上市町農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 39 号	令和元年度上市町下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 40 号	令和元年度上市町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 41 号	令和元年度上市町病院事業会計補正予算（第 1 号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 42 号 ～ 第 67 号	<p>【条例制定及び一部改正の件：26 議案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上市町営バス及びスクールバスの設置及び管理に関する条例 ・上市町手数料条例・行政財産の使用料に関する条例 ・上市町法定外公共物管理条例 ・上市町税条例 ・上市町墓地公園条例 ・上市町印鑑条例 ・上市町保健福祉総合センター条例 ・上市町医学生修学資金貸与条例 ・上市町馬場島野営場条例 ・剣岳青少年旅行村条例 ・上市町文化研修センターの管理運営に関する条例 ・上市町商業・サービス業集積関連施設の設置及び管理に関する条例 ・上市町森林総合センターの設置及び管理に関する条例 ・ふるさと剣親自然公園条例 ・上市町農産物加工研修施設条例 ・上市町まちなか交流プラザ条例 ・上市町西中町駐車場条例 ・上市町道路占用料条例 ・上市町都市公園条例 ・丸山総合公園の管理運営に関する条例 ・上市町下水道条例 ・上市町水道事業給水条例 ・上市町飲料水供給施設等給水条例 ・北アルプス文化センターの設置及び管理に関する条例 ・かみいち総合病院使用料及び手数料条例 	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 68 号	町道路線の認定に関する件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 69 号	消防資機材搬送車取得に関する件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

委員会報告

総務教育 常任委員会

企画課

町営バスの定期券・一日券等の販売は、役場会計課、アルプスの湯の福祉課一階窓口で回数券の購入可能。今後上市駅構内でも購入できるように協議する。町広報などで周知を図る。

町営バス車内での回数券販売や、おつりの対応は今後地鉄と協議していききたい。なお、キャッシュレス化は維持管理費用面から難しい。

財務課

環境性能基準を満たす車の自動車税が、非課税や軽減となるが、13年経過した車は増税されている。増税と減

税をあわせて、広報で周知したい。

今後工業団地等が増えると考えられるが、排水のために法定外公

共物をまたいで排水管を設置する場合などに、維持費の確保や町で管理する範囲をはっきりさせる目的で、占用料を徴収することについては、件数は少ないが必要であれば求めているこうと考える。

教育委員会

中央小学校講堂改修工事は、当初の予定通り令和元年9月20日までの工期で進んでいる。

【委員会の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決及び承認した。

所管事務事項の継続審査の件は了承。

産業厚生 常任委員会

福祉課

生きがイデイサービ（おたっしや家）の平成30年度予算を減額補正した。事業は社会福祉協議会に指定管理委託している。利用者数と単価で実績払いのため、予算に未執行が生じたもので、ニーズはあり利用者が少ないわけではない。

医学生の奨学制度は、昨年の利用実績はない。過去に利用はあるが全額返済されており、かみいち総合病院への勤務実績はない。

委員からは、月額4万円の奨学金では少ないのではないかと指摘を受ける。

放課後児童支援員が2名足りていないが、

現状では問題なく運営されている。しかし、学生採用も含めて各方面に応募を募っているが、人材確保は難しい現状である。

町民課

墓地公園の利用状況は、AA区画が最も多く23区画残っている。合葬墓は120柱中63柱を貸出し中。今後は大きな合葬墓を整備する予定。

10月から住民票等の交付手数料を200円から300円に値上げする。印鑑登録証の再発行を無料で実施していたが、1件につき300円の交付手数料をいただく。

産業課

昨年度の馬場島荘の宿泊利用実績は600

件。日帰り利用も含めると延べ利用人数は1万5893人。森林総合センターの利用実績は14件。

プレミアム付商品券事業は、簡易書留で発送するため34万7000円の補正を行う。

かみいち総合病院

10月から分娩介助料を3万円値上げし、18万円とする。年間のお産取扱件数は90件余り。町の出生件数と同程度となっている。

今の時代は、質の高いサービスを受けられる病院が選ばれる。総合病院には質の向上を求めたい。

今年度も地区単位でナイトスクールを開催予定する。

多くの皆様の参加をお願いしたい

【委員会の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決及び承認した。

所管事務事項の継続審査の件は了承。



合葬墓



堀田喜久男 議員

トップセールスで外国人誘客を最悪を想定した安全対策を求める

外国人観光客の誘客

議員 新幹線開業以来、多くの外国人観光客が県内を訪れている。上市町のPR、知名度アップのための誘客活動の最善策は、町長のトップセールスしかないと考えますが、どのように捉えているか。次代を担う職員の海外研修をどう考えるか。

町長 首長が海外誘致活動に参加していかないのは、上市町を含む2自治体。海外でのトップセールスの効果については、富山県の誘致活動や実際の入り込み客数からみても、有効に働く可能性があると考える。町単独でのトップセールスは難しいものの、県や県内自治体が連携する海外での活動があれば、是非、参加したい。

職員の海外研修は、国内研修で充足していると考え、当面は考えていない。今後、検討してみる。

通学路、歩行者の安全

議員 大津市の交差点で信号待ち保育園児に車が突っ込んだ事故、及び、川崎市のスクールバス待ち小学生への殺傷事件が発生した。今後も必ず起きるものと考え、これを教訓として、何らかの対応策が必要と考える。危険個所と想定される交差点コーナー部に、ポール等の設置を検討できないか。

建設課長 通学路とされる延長距離は36kmあるが、危険と想定される交差点については、危険と判断する明確な基準が



歩行者を守るポール（別府市）

無いため、申し上げられない。ポール等の設置は有効と考えるが、

交差点の形状、設置スペースの確保、必要な予算など課題がある。今後の通学路交通安全推進会議において、

各関係機関と連携し、危険と想定される交差点の把握と対策について協議していききたい。

議員 短時間での殺傷事件に対する有効な対策はあるだろうか。

町民課長 バス乗り場に置く、教員増員による警戒強化の報道がある。また、保護者の付き添いや、警備会社と契約した



接触の跡がある交差点のポール（福岡市）

学校もある。それでも刃物で襲われれば防ぎようがないとの声も届いている。

警察署員によるパトロール強化をお願いするとともに、防犯協会やふれあいボランティア、地域見守り隊の方々などの力を借りて、地域社会の連携を深め、安心安全な町づくりの推進に努めて参りたい。

無花粉スギ苗栽培促進

議員 優良無花粉スギ「森の輝き」の需要と供給量はいかがか。また、挿し木苗栽培を、上市町の農家に普及拡大させるためには、どんな条件があるか。

産業課長 全国的なスギ苗の需要量は不明だが、県内では平成30年度で約8万本。無花粉スギ「森の輝き」の供給量は4万本で、それらを委託先である富山県樹苗緑化協同組合が生産している。栽培受け入れに際しては、富山県育苗協会に生産事業者登録する必要がある、そのため林業種苗生産事業者講習会受講が条件。

無花粉スギの苗栽培は、町内全体への拡大は可能と思われるが、全国的な需要量が把握されておらず、経営的にも成り立つかは現時点では不明確。今後、情報収集に努めていききたい。

一般質問

空家等の今後の対策は 東京オリンピックの聖火リレーは



伊井 勇 治 議員

議員 空家等対策協議会の活動内容及び今後の取り組みは。

副町長 町では、平成28年度に設置した「上市町空家等対策協議会」において、倒壊のおそれがある特定空家の対策を重点課題として取り組んできたが、空家の活用を促進し、地域の活性化やまちの魅力向上に繋げることも大切であると考えている。

現在、当町の空家等対策協議会の委員は、学識経験者や警察署長等で構成しているが、利活用について議論するためには、例えば商工会や観光協会等の方々にも参画してもらうことも一案と考えられ、本協議会のあり方や委員の見直しも含め検討する。

なお、撤去を必要とする危険な空家を解体する費用を補助する制度と、町に土地・建物を寄附し、町が解体する制度を設けており、地域活性化のため、町内会の駐車場

やゴミ集積場として利用されており、これまで2件の実績がある。

その他、県外からの転入者が、築30年以上の古民家である空家を改修し住む場合に補助する制度がある。

建物は、使われてこそ存在価値があり、移住・定住の住まいはもちろんのこと、団体や地域住民の活動の場とするなど、柔軟な発想をもって、1軒でも多くの空家を有効に活用できるように努力して行く。

議員 東京2020オリンピック聖火リレーの参加方法などの詳細は。

教育長 令和2年の6月3日、4日の2日間富山県全15市町村を聖火リレーが通過する。

詳細なルートや走者の人数などは、富山県実行委員会が関係機関と連携を図りながら、今年の12月末ごろまでに国の組織委員会から正式な発表が予定されている。

言うまでもなく聖火リレーは、めったに生で見ることができない大きなイベントであり、聖火リレーが行われる際には、より多くの町民の方に呼びかけ、是非とも沿道にてご覧いただき、オリンピックの機運の醸成に努めて行く。

議員 子育て支援の新たな取り組みを。

一定規模の活動を行う団体へ助成。
空家などを活用した工作室（アート教室）を設置しては。

・上市町こどもの城の広域的な活用を。

福祉課長 一定規模の活動を行う団体への助成は、「一時預かり事業」や「地域子育て支援拠点事業」など、国や県の補助金を活用し支援を行っている。また、本年6月号の町報表紙に掲載された「お出かけ図工教室」が紹介されているが、これは、事業を企画した地元有志グループの思いを

町が受け止め、こどもの城と協同事業とすることNPO法人日本NPOセンターより助成され実現した。今後も、民間助成事業などを活用しサポートして行く。

空家などを活用した工作室では、空家等対策協議会で議論された場合、

積極的に参加して行く。こどもの城の広域的な活用として、未就学児を持つママ向けの子育て情報誌「はっぴーママ」などに紹介しており、町内外から利用されている。今後も有効に活用して行く。



上市町こどもの城



成川 宏仁 議員

道路交通のヒヤリ・ハット 情報を集約して事故を防止せよ

西田美術館の企画展

企画展をきっかけに
交流のあり方提案を

議員 西田美術館で始まった「月光荘おじさん展」は、上市町出身で東京の画材店「月光荘」を創業した橋本兵蔵の足跡をたどるもの。

町長 前館長が昨年より構想を温めた企画で、現館長のもと開催の運びとなったと聞く。

この企画展にあわせて絵画が募集され、子どもたちから上市町をモチーフにした作品全70点が寄せられたとのこと（展示中）。



月光荘おじさん展のポスター

議員 上市町ゆかりの文化・芸術の拠点として、月光荘とのご縁を大切にしたい。企画展をきっかけに、交流を継続できな

いか。

町長 多くの画家や文化人と交流があった橋本兵蔵の存在を、地域の方々にも知ってもらう良い機会になった。

上市町に住む方々との間で今後どのような交流があり得るのか、提案いただきたい。

議員 民間企業や他の自治体など、運営主体が上市町とは異なる美術館などで上市ゆかりの企画展を行う際の連携は、今後の課題。

道路交通の危険情報

情報集約を工夫せよ
ホームページ掲載も

議員 交通事故が起きた場所と日時、ヒヤリ・ハットで人々が危険を感じた場所と危険の内容、そのような情報を随時集積する仕組みができないか。

町民課長 上市町通学路交通安全推進会議で、校区の通学路に関する情報を共有している。

道路の定期パトロールや、住民からの電話などで得られた情報の集約に努めている。

議員 紙媒体の大きな地図に集約するやり方もあるが、ウェブサービスなどの活用にも期待する。余所から来る方々も参照しやすい。

例えばごみのポイ捨て対策には、富山県も採用するスマートフォンアプリ「ピリカ」で個人の情報共有して、ごみ拾いを促進している例がある。



ごみ拾いアプリ「ピリカ」

ある。

町民課長 集約した情報のうち、一定規模の交通事故の発生箇所や交通に支障がある区間を、町のホームページにタイムリーに掲載できるように検討する。

学生との地域づくり

地域は子どもと共に
高校生の活動に協力

議員 子どもや学生と共に取り組む地域づくりを模索せよ。

例えば隣の舟橋村では「こども公園部長」、立山町では「大学生地域サポーター」といった事例がある。

上市町でもかつて3年間、「地方創生インター

ンシップ」として大学生などを受け入れていた。

企画課長 上市高校の生徒が、従来のボランティア活動に加えて、町内企業の職場見学会などを通して町に貢献している。このような地域活動に可能な限り協力したい。

次期の総合計画や地方創生総合戦略にも反映したい。

議員 地方創生インターンシップの参加者が、社会人となって活躍している。今現在の立場から提案を求めている。

企画課長 継続的に連絡を取り合う状態ではない。町の課題に対する共通認識が得られていない状況では、新たな提案の受け入れや提案の実現は難しい。

一般質問

商品券の発行で消費の底上げを 丸山総合公園にトイレ設置を



寺西庄司 議員

プレミアム付き商品券

議員 プレミアム付き商品券が全国的に発行されるが、目的は、

産業課長 今年10月の消費税率の引き上げの影響を緩和する事を目的としており、対象の世帯は限定的である。

議員 対象者や、内容を具体的に。

産業課長 対象者は、「住民税非課税者」および「平成28年4月2日から令和元年9月30日までに生まれた子がいる世帯の世帯主」である。

内容については、1枚1000円の額面で1冊5枚綴りとした5000円分の商品券を4000円で5冊まで購入可能である。

子育て世帯主に限り、対象となる子供の人数分まで購入可能である。

商品券の使用期間は、10月1日から翌年2月29日まで。

町単独の商品券

議員 町単独の商品券の対象者と、内容を具体的に。

産業課長 対象者は、所得等に関係なく、町内全世帯の世帯主が、1枚1000円の額面で1冊11枚綴りとした1万1000円の商品券を1万円で購入する事ができる。

この商品券11枚のうち、7枚は全ての取扱店で使用できる「共通券」

とし、残りの4枚は本店所在地が町内にある事業所のみで使用可能な「専用券」とする。フランチャイズ経営の事業所においても、この「専用券」が使用できる。

商品券で経済効果

議員 今回の商品券発行で、町民の皆様に対して消費の底上げに心がけて頂く事が重要だ。

産業課長 上市町としては、今回の商品券発行による消費喚起

を呼び水として、町の皆様が地元事業所の良さに再度気づくきっかけとなることを期待するとともに、町なかの経済が活性化できるような事業を進めていく。



※お釣りは出ません
プレミアム付商品券(イメージ写真)

トイレ設置を

議員 丸山総合公園において、急な生理現象に耐え切れずバーベキュー広場の近くで、やむにやまれず用を足してしまう方がいる。環境衛生上、公衆トイレの設置を要望する。



丸山総合公園内の遊具

建設課長 同公園の中央に多目的広場前公衆トイレがあり、今のところ新たなトイレの設置は難しいと思われる。当町としては、憩いとレクリエーションの場として、皆様に快適に過ごしていただくよう、利用者のマナー向上の啓発に努めていく。

ウェルネス存続を強くもとめる



議員 酒井 健之

ウェルネススポーツセンターの存続を

議員 学校法人健康科学園富山健康科学専門の令和2年度以後の学生募集停止の通知に対しての当町の見解はどうか。

町長 4月中旬、学校法人健康科学園から富山健康科学専門学校の学生募集を来年度以降停止し、本年度入学した学生が卒業した後に閉校する予定であると申し出があった。平成3年4月の開校以来、健康づくりの指導者養成を目的として、長きにわたり社会の多様な要請に対応できる実践力を備えた学生の育成に努めていただいたところである。学生募集停止の決定に至ったことは、町として非常に残念であるが、やむを得ないものと考えている。

議員 ウェルネススポーツセンターを存続させるための諸条件に対する当町の考え方は。

町長 ウェルネススポーツセンターはあくまでも富山健康科学専門学校の付属施設として設置されているため、単独で存続される可能性は低いと思われる。

学園側からは、近年のスポーツセンターに係る運営費として町からの支援を含めても年間2000万円近い収支不足が生じており、その不足分は東京健康科学専門学校から補填しているという状況であり、存続はこうした課題をクリアする必要があると思われる。

議員 上市町健康サポート事業の運営を今後どのように考えているか。

教育長 町民の体力の維持・向上を図るとともに、富山健康科学専門学校の経営を少しでも応援するために創設した。平成28年11月から、トレーニングジムの一般利用が再開され、会員登録や受講料に町の補助制度がある。スタッフの丁寧な指導が評価され、会員の数

も年々増加し、当初は25人からスタートし、平成30年度末で59人になった。また、今年の4月から開放時間を拡大するなど利便性の向上を図っている。平成30年度の施設の利用状況は、年間開放日数が168日、利用者数は延べ約2700人。1日あたり約16人となっていて、町は259万6000円の補助金を出している。

ジムトレーニングは生活習慣病の予防・改善、医療費の抑制など本事業の継続が望ましいと考えられているが、このスポーツセンターの存在が大前提となるため、今後の状況を注視していきたい。

議員 プールは町内からだけでなく、近隣市町村の方も利用している。撤退後も活用ができないか。

町長 施設の維持管理費の町負担が大きいため、運用は困難である。

議員 町民の健康づくりの場として活用し、国や

県へ相談して存続ができないか。

町長 令和3年3月以後、プールとトレーニングジムを分離して運営を存続することは困難と思われる。専門学校が大きな赤字を抱えて、町としても応援は難しい。どこかで決断する時期が来る。学校の結論が出たら相談をしたい。

議員 プールやジムを利用したサポート事業の代替事業はどう考えているか。

教育長 専門学校の方向が示された時点で検討し、利用者の意見も聞きたい。



ウェルネス 安全水泳教室

イノシシ対策は放棄林対策



議員 岩野 憲 実

議員 イノシシが逃げ隠れする放棄林の状況と地権者の意向を調査せよ。増えているイノシシ問題は、中山間地の継続を脅かしている。捕獲や電気柵での対応が進められているが、イノシシが増える環境を考えなければならぬ。

イノシシが富山県内の中山間地に闊歩し始め10年程になるが、その主たる要因は放棄林の増大にあり、イノシシ対策は放棄林対策を基本にしなければならぬ。

富山県の「水と緑の森づくり税」に続き、国も森林環境税を創設し、森林整備に踏み込んでいく。財源はあるのだから、具体的な手立てが必要だ。間伐や人材育成、担い手の確保、木材利用の促進を図らなければならぬがそのためには、実状を明らかにしなければならぬ。

「森林環境税」及び「森林環境譲与税」の用語解説と仕組み

「森林環境税」は、温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止、国土保全等を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保することを目的に創設された。

住民1人あたり年1000円を個人住民税に上乗せして徴収するもので、5年後の2024年度（令和6年度）から徴収が開始される。

「森林環境譲与税」は、国が集めた森林環境税の全額を、間伐などを実施する市町村やそれを支援する都道府県に譲与（配分）するもので、今年度から配分が開始される。

国の試算によると、**上市町に配分される金額は年300万円ほど。**

数年毎に配分金額が少しずつ引き上げられる見込であり、十数年後には年間一千万円ほどの配分収入を見込んでいる。

上市町	立山町	入善町	朝日町	滑川市	魚津市	黒部市
1,501ha	1,658 ha	238 ha	1,250 ha	193 ha	1,784 ha	1,190 ha

県内自治体の私有林人工林面積

産業課長 町の放棄林の状況を森林簿で確認したところ、施業履歴のない森林が少なからずある。現在、国や県の事業を用いて少しずつだがその解消に努めている。

具体的には施業履歴が伐や下刈り等の業務を実施

無い森林において、里山の方から順次地区の選定を行い、該当する森林所有者へ今後の林業経営に対する意向調査を行い、同意が得られた箇所から放棄林も含めた箇所の間伐や下刈り等の業務を実施していきたいと考えている。

この事業によって今まで手入れの出来なかった森林の間伐や、作業道等の整備が行えるようになる。数年後には、イノシシ等の侵入予防対策に繋がるものと考えている。

議員 山林所有者の意向調査を森林組合へ依頼してはどうか。

木材利用の促進を図るため、バイオマス発電事業・木質ペレット・製紙工場等と協同して放棄林の再生を進めてはどうか。

議員 困難を乗り越えなければならぬ。南加積地区ではタケノコがイノシシに食べられるなど被害は増大している。

産業課長 現在、山林所有者の意向調査は、町の山林に精通している立山麓森林組合へ委託したいと考えている。

バイオマス発電事業等は、発電用木材の供給先でもある富山県森林組合連合会から、長さ3m前後で直径が約10cmを超える未利用材のみ発電用木材として使用できるとの

材木は輸入の方が安いことが放棄林の要因になっている。放棄林の地権者と話しをつけることは簡単ではない。地権者が不在の場合も多い。放棄林を伐採し、バイオマス発電の燃料とするにも、補助金などがないと持続が困難。



酒井恒雄議員

車の急発進による事故を無くそう 安全装置取付を推奨する補助金を



富山健康科学専門学校外観

議員 企業の撤退及び企業誘致について伺う。

町長 昨年、株式会社サンリッツが閉鎖となった後、町に何か新しい動きはあるのか。また、雇用や企業誘致をどの様に考えているのか。

町長 町は地域産業の活力低下と周辺環境の悪化を懸念している。

町はサンリッツに対し、従業員の働く場の確保や情報提供を求めている。現在、駐車場を含む既存建屋を一括して活用していただける事業所を探しているとのことであり、町の発展に寄与する相手先が見つかるよう協力していく。

も企業誘致は、町の発展のために非常に大切である。現在、上市スマートインターチェンジ周辺の約4900m²を工業団地として整備を進めていて、価格設定などの準備が整った段階で公募したい。

議員 富山健康科学専門学校

学校の存続について伺う。

① 既存建物の解体の可否・条件、跡地利用計画

② 代わりの民間経営者の有無

③ 学校を町で取得し、スポーツジム等を民間委託

町長 専門学校運営主体学園と町の間で当初交わした覚書と契約書がある。学校側の都合により廃校した場合、建物は原則取り壊し、元どおりにして土地を町に変還するとしている。ただし、施設を解体するよりも有効活用できないか学園に申し入れをしている。

民間経営者の有無は学園側から聞いていない。

近年学園は2000万円近い収支不足が生じている。もし、学校を町で取得し、スポーツセンターやプールを民間委託する場合には同等の町負担が生じることとなる他、民間のスポーツクラブの委託運営に委託料の予算計上が必要である。

また、建設から30年近く経過し、施設の老朽化に伴う大規模修繕費用も見込まれるなど、町が取得することは大変難しい。

議員 山積する町の諸課題に対応するには、町民にご理解ご支援をいただくことが必要である。校区毎にタウンミーティングを開催するべきだ。

町長 町政にご理解を頂くため、町報、町ホームページ、ケーブルテレビ等で随時情報発信を行い、町民の皆様への周知に努めている。また、意見箱「町長への手紙」や各地区からの

要望は「要望書」を受理しており、一定の集約が可能だと考えている。過去に開催していた町政懇談会では地区の要望として、道路・水路の整備などがハード事業に関する物が圧倒的に多く、要望は順次整備を進めている。そのため、タウンミーティングの実施は現在のところ考えていない。

議員 高齢者の車の操作誤りによって全国各地で悲惨な交通事故が発生している。悲惨な事故を減らすため、「踏み間違い加速抑制システム」など、車に安全装置の取り付けを推奨する補助金の創設ができないか伺う。

町民課長 自動車業界では、交通事故防止対策として、自動ブレーキシステムや後付けでも取り付け可能な「踏み間違い加速抑制システム」などの安全装置の導入が進められている。今後、補助金の導入を検討していく。

一般質問

地域の活性化



伊東 俊 治 議員

議員 当町での「関係人口」に関連する取り組み状況は。

企画課長 関係人口は、6月11日に政府が公表した「まち・ひと・しごと創生基本方針」案で、その拡大が重要と位置づけられた。

町はこれまでも東京上市郷友会での情報発信や意見交換などを行っている。また、3年前から「かみいちひとの輪プロジェクト」と称し、町内在住者や町出身者の方々に、「かみいち」というつながりの輪をつくり、その輪を大きくしていくことで、町がさらに賑やかになることを目指した事業を展開している。町内在住者や出身者が40歳の時に地域や同年代とのつながりを深め、地域活性化を目指す「2回目の成人式」の開催支援や、首都圏在住の若者が「上市」とのつながりを強くし、大切に思うきっかけとする「かみいち若者同

窓会in東京」などを実施している。

これらの事業は、単年度ではその期待される効果を発現しにくいこともあり、特に町外にいらっしやる方とのつながりをつくることについて苦慮している。町としても今後の展開について課題を感じている。しかしながら、人口減少や少子高齢化が進行している昨今において、「上市想い」の仲間を増やす取り組みは非常に重要と考えていて、現在、「2回目の成人式」の開催に向けて関係者と協議しているほか、「かみいち若者同窓会in東京」においても、3月に開催した際の参加者と意見交換を行い、より多くの仲間を見つけられるよう検討を行っている。

「地域おこし協力隊」発足10年

議員 町民の「地域おこし」への参加状況は。

企画課長 地域おこし協

力隊事業は平成21年度に創設され、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、生活の拠点を移したものを地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱している。

隊員は、一定期間その地域に居住し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行っている。

議員 当町における地域おこし協力隊の今後の活用は。

企画課長 現在、当町には隊員が2名いる。隊員自らが広報誌の発行を企画、実践したほか、町内在住女性と隊員がざくばらんに何でも話し合う「かみいち女子トーク」の実施や、町外から町へ移住してきた人たちとの交流会を開催するなど、大変精力的に活動されている。町では今後も基本的に少数精鋭で地域おこし協

力隊に活躍していただくかと考えている。

議員 「地域おこし協力隊サポートデスク」の活用状況は。

企画課長 「地域おこし協力隊サポートデスク」は、平成28年9月から総務省が開設し、地域おこし協力隊員が地域で円滑に活動ができるよう、受け入れ・サポート態勢を支援するもの。町の利用実績はない。

議員 「おためし地域おこし協力隊」の実施について

企画課長 「おためし地域おこし協力隊」制度は、今年度に創設された。地域おこし協力隊として活動する前に、住民との交流を含む2泊3日以上の地域協力活動の体験プログラムを実施し、受け入れ地域とのマッチングを図るものである。今後、どのように活用するか検討していく。



地域おこし協力隊



松本 寛 議員

上市町を一望できる展望台設置を

議員 町民の要望として聞いたことの一つに、「上市町を一望できるシンボリックな展望台が町に欲しい」との声がある。とは言え、さすがに新たな展望台を一から建設するのは難しいと思う。そこで、「カミール」横の立体駐車場の屋上一角を利用することである。理由としては3つある。

まずカミール横立体駐車場が上市町の市街域内の既存建築物の中で一番高い部類に入ること。この屋上からであれば町も見渡せ、剱岳も富山湾も望める。

次に駐車場の管理会社が上市まちづくり公社で町と連携が取りやすいということ。また駐車場の方であればカミールの営業と直接的に関わりなく利用できる余地があると思う。

最後にカミール横の立体駐車場そのもののPRにもなること。展望台として立体駐車場を整備す

ることがPRになるのではないか。

産業課長 カミール横の立体駐車場の一角を、展望台として整備してはどうか、とのことですが、新たな名所として既存施設を活用し、町中心部への誘客を図る方策として、誠にありがたいご提示を受けたと感じる。

しかし、立体駐車場の屋上部分を憩いの広場、展望施設としてベンチなどを備えるには、既存の駐車区画を減らす必要がある。また、フェンスの高上げやエリアを定める仕切りなどの整備以外に、駐車場利用者の安全対策も必要である。

立体駐車場では眺望を楽しむ場所として高さが十分でなく、近隣に樹木や高い建物も存在しているため活用は難しいものと考える。

当町は、立山連峰を眺望することができるところ、富山湾と富山平野を一望できるなど、美しい景観を俯瞰できる素晴らしい地域であるため、今後、町内の高い建物や高所を眺望場所として有効に活用することができな

いか研究していく。



カミール横立体駐車場屋上から剱岳方向を望む



カミール横立体駐車場屋上から富山湾方向を望む

常任委員会の行政視察報告

大分県別府市

(5月21日)

(九州北部3日間)

5月21日(火)から23日(木)までの3日間、議員一同で九州北部(福岡・大分・佐賀)を訪ねた。その地域ならではの先進的な取り組みや、上市では未経験の氣象災害や交通事情への対応を学ぶ行政視察の一環である。

た、私たちが連想しがちな芸術振興とは一味違う取り組みがなされている。街なかには若手芸術家が居を構え、街なかの建物に作品を描き、街なかの店舗で逸品を販売する、という地域に根差した二連の取り組みである。

1日目の21日(火)は昼頃に福岡入り。高速道路で大分県の別府市街へ向かった。

このたびの視察では、芸術まちづくりの立役者とも言えるNPO法人別府プロジェクトの山出(やまい)で、淳也代表理事に、まずお話を伺った。

別府は温泉街が全国的に有名だが、実は芸術(アート)を生かしたまちづくりでも先駆的な地域である。

次いで、同NPO法人のスタッフの方々の案内で、別府駅前を散策・見学した。例えば末広地区の町内会が運営する温泉集会所は、1階が共同浴場(町外の人も料金を払えば入浴できる)、2階が集会所(公民館)とな

ここでは美術館で絵画や彫刻を展示するといっ

つている。その浴場の壁画を、地元の芸術家が描いている。また、昔ながらの集合住宅「清島アパート」を、芸術家



芸術家の拠点「清島アパート」

ついで、同NPO法人のスタッフの方々の案内で、別府駅前を散策・見学した。例えば末広地区の町内会が運営する温泉集会所は、1階が共同浴場(町外の人も料金を払えば入浴できる)、2階が集会所(公民館)とな

の拠点として再利用している。1階がアトリエ、2階が住まいであり、かつて藤子不二雄らの漫画家が集ったトキワ荘をほうふつとさせる。そのほか、古民家を再生して、同NPO法人が手掛けた特産品などを販売するセレクトショップにしている。

ちなみに同NPO法人の年間予算(売上高)は3億円ほど。民間の力でまちづくりを進める手法は、わが町でも大いに参考にしたい。(成川友仁)

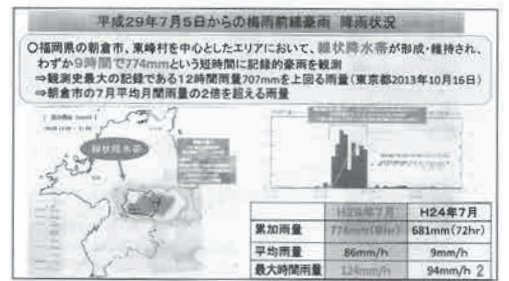
福岡県朝倉市

(5月22日)

被災時の当局及び議会の対応

平成29年7月5日より九州北部を襲った豪雨災害で、最も大きな被害を受けた朝倉市で、災害発生時の当局の対応と、議会・議員の行動マニュアル等について学んだ。

最初に、被災時の降雨状況について、次のように説明を受けた。福岡県朝倉市、東峰村を中心としたエリアで、線状降水帯が形成・維持され、わ



ずか9時間で77.4mmという記録的豪雨を観測。(この数値は朝倉市の7月平均月間雨量の2倍を超える雨量)

続いて災害対策本部等について経緯説明。7月5日13時14分大雨洪水警報発令、14時10分朝倉市災害警戒本部設置。その後、17時51分に九州初の大雨特別警報が発令。7月6日10時、市議会災害対策会議開催、同閉鎖の11月29日までの詳細について聞いた。

議員行動マニュアルでは、初期段階では自身や家族等の安全確認。その後は、対策本部への情報提供は集約して議長が行なうため、議員個人で行

わない事が大切である事を学ぶ。(但し、人命に係る緊急時を除く)議会と当局の連携が不可欠であり、復興に対する要望活動も同様で、正副議長が中心で活動との事。(堀田喜久男)

佐賀県小城市

(5月23日)

小城スマートインターチェンジ

令和2年12月末供用開始に向けて、北陸自動車道(仮称)上市スマートICの工事が発注された。開通前の段階にある当

町で予測される問題点等を模索するため、小城市において、長崎自動車道小城スマートIC(平成30年3月31日に開通)の状況を学ばせて頂いた。

まず、事業概要から、平成24年4月17日、連結許可。事業費は小城市約7億円、ネクスコ西日本約14億円。上下線分離で休憩施設接続型(上市は本線直結型)。ETC搭載で12m以下(上市は制限なし)の全車種。整備効果については、工業団地への立地促進・



利便性の向上。地元企業の物流効率化を支援。多様な業種の企業に利用されている。小城市内への観光客が増加中。観光目的の利用が多くなっている。バルーンフェスタの来訪者は利用。地域防災への貢献。救急医療への貢献などが示された。交通量増加による地元要望は無し。接続する県道の横断歩道や防犯灯の設置要望あり。交通量は、想定9割。周辺の地価上昇無し。IC近郊の企業団地は、平成28年に用地完売。救急搬送は高速道路上交通事故で4件、小城市から他市へ3件利用。高速バス停は現在未使用との報告あり。(堀田喜久男)

薬草園が新しくなりました！

- 富山県薬事総合研究開発センター
- 薬用植物指導センター研修棟整備 平成31年4月



技術研修機能を備えた薬用植物指導センターを整備し、付加価値の高い薬用作物の生産を支援することにより、生産農家の所得向上、医薬品産業の活性化を目指すものとして開設。

設備も、栽培技術、生薬生産技術、座学の3研修エリアを。併せて各種機器等も整備された。

栽培支援として、栽培指導、種苗供給（有料）を行っています。また、薬草に関する知識の普及も行っていて、一般の皆様を対象に野外観察会を開催しています。当センターでは、約230品種のシャクヤクを栽培しており5月下旬が見頃です。多くの県民の方の来場があります。



シャクヤクの花

追跡レポート

その後実った議会での提案・要望

休日のパークゴルフ大会

平成29年6月議会質問

その後

平成30年9月定例会で、年1回に限り、大会の休日開催が認められた丸山総合公園芝生広場でのパークゴルフ。平成最後の4月28日、町民体育祭にて使用させて頂いた。今後共、公園の一般利用者とのトラブルが無いよう、注意してプレイを楽しんで頂きたい。



交通安全対策 交差点付近にカラー舗装を

平成31年3月議会質問

その後

平成31年度には「上市町通学路交通安全推進会議の安全点検」を基に、上市町の学校前の車道の一部でカラー舗装された。自動車運転手への注意喚起が目的。写真は宮川小学校近辺です。



町民の声 紹介



東江上
桑名 甚吾さん

この議会広報が定期的に発行されるようになってから、議員個々の考えや思いが伝わるようになってきました。上市町の発展に対する思いのほどが強い人、共感できる人をできる限り応援するようにしています。ですからこの議会広報も途中でやめることなく、連続発行されることを望みます。今後とも上市町が安全で住みやすい町になるように、期待します。

議会に期待することは

福井から金沢、黒部から上市町へと転々と移り住んでここの上市に来てはや40年以上。上市に来た当初は上市駅（鉄道ファン好みのスイッチバック駅）で進行方向が逆になり、とても驚いたものでした。いまではよそ者のレッテルカラーも薄くなり、地域住民にとけこみ、畑やガーデニングをしながらセカンドライフを楽しんでいます。ここは山脈に守られて、台風や地震などの災害も非常に少なく、山あり川ありと自然がいっぱいのとても住みいい町です。



森 尻
平井 潤子さん

皆さんの、ふくらはぎ、下肢の筋肉はお元気ですか？先日旅行し1日目お寺参りで歩き、2日目は登廊399段を登る途中で、太ももが張り、息づかいも乱れ、夜中には下肢筋の痙攣で眠りが妨げられました。水分補給とケア不足（ストレッチ・揉みほぐし・温め）です。筋肉は使った量の倍程、ケアする事で筋肉の貯筋になります。毎日足関節や足指を動かす、ふくらはぎを温めて、人生100年時代を生き抜きましょう。

議会に期待することは

街中の空き店舗が目立ってとっても寂しいです!! 商売屋（小売り・サービス業）にとっては人口の減少が一番の心配。行政では人口を増やす為に、子育て支援・移住定住・さらに高齢者が元気で健康寿命が伸びる様にと脳と体の体操・口腔ケアと食事・安眠の眠り・医療の充実・工場や企業の誘致に取り組んでいらつしゃいます。さらに魅力ある施策や新たな事業に取り組んで頂ければ、町の活性化に繋がっていくと思います。

議会傍聴しませんか。

日程は、町広報とホームページで確認願います。

お知らせ

「声」の募集
町民の声コーナーに、ひと言お寄せいただける方を募集しています。各議員または議会事務局までお知らせください。

編集後記

6月定例会では、本年10月より消費税が10%に上がるための予算及び条例改正が主な議案となりました。国の方針でありますが、皆様の家庭に重くのしかかることは事実です。

これらを受け、町では、子育ての充実や、公共交通の使いやすしい運行など、日々の生活に密着した支援を実施します。

我々各議員は、有効的な提案や経費削減に向けた工夫などを行うため、町民各位のご意見・ご協力を仰ぎ、切磋琢磨し活動してまいります。

今後とも宜しくお願います。
伊井 勇治

お詫びと訂正

議会広報かみいち No.19号で、町民の声の記事中に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

(誤) 田辺克己さん
(正) 田近克己さん

議会広報特別委員会

- 委員長 勝戸 謙
- 副委員長 伊井 勇治
- 委員 松本 寛
- 堀田喜久男
- 宝嶋 洋子
- 酒井 恒雄

表紙写真

「イエイ！」「よろしくね」新しい中央つと仲良くなるうね集会」での初々しい新1年生と在校生。今後の明るく楽しい学校生活が見えるようだ。